

太陽光の恵みから水素をつくる ～水分解光触媒～

入江寛 教授（山梨大学クリーンエネルギー研究センター）



2013年3月19日（火）16:00–17:00

創成科学研究棟4階セミナー室C

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

原子力発電所の相次ぐ停止により、日本のエネルギー状勢は著しく悪化している。そうした中で再生可能エネルギー、とりわけ太陽光、風力、地熱の利用に大きな期待が寄せられている。一方で、低炭素社会の実現のため、未来の二次エネルギーとしての水素が注目され、水素の安全な製造、輸送、貯蔵、充填など水素利用のトータルシステム構築の研究が推進されている。その中での水素製造は、太陽光や風力による電力を用い水の電気分解で水素を獲得することが想定されているようである。本講演では太陽光を用いて直接水素を獲得する水分解光触媒について講演者の研究を中心に述べる。

問合せ先：北海道大学触媒化学研究センター・教授・大谷文章 (ohtani@cat.hokudai.ac.jp/011-706-9132)

《講演者略歴》2000年 東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了(学術博士)/財団法人神奈川科学技術アカデミー博士研究員/2001年 東京大学先端科学技術研究センター助手/2004年 東京大学大学院工学系研究科助手/2006年 同講師/2008年 同准教授/2009年 山梨大学クリーンエネルギー研究センター教授